

国会要請・厚労省交渉

# 患者負担軽減・診療報酬改善求め 高齢者医療制度改悪、抜本的な見直しを

協会・保団連は患者負担軽減や診療報酬改善、自主共済の保険業法の適用除外などを求めて9月27日、国会要請行動を行い全国から35人が参加、協会から伊津進弘理事長が参加し地元選出国会議員らに要請した。また同日、歯科診療報酬に関する運用と記載要領の改善などを求めて厚労省に要請し、協会からは吉田裕志副理事長・社保研究部長が参加した。

国会行動の要請項目は、  
①社会保障予算自然増2200億円の削減方針の見直し②医療費総枠の拡大と診療報酬の引き上げ③患者負担の軽減④高齢者医療制度改悪の来年度実施の凍結と、抜本的な見直し⑤「歯は命」歯科医療危機突破10・28集会への賛同——など。

要請に際して住江憲男保団連会長は、「福田新首相となり高齢者医療の負担増凍結と言っているが、保険料の年金天引きや滞納すると資格証明書が発行されるなど問題が山積している。凍結案は不十分であり、抜本的に見直すべき。いまの医療危機を回避するには総医療費を増やし、診療報酬を引き上げることこそ必要だ」と訴えた。

伊津理事長らは、大阪近畿選出衆議院議員へ要請し、面談した竹本直一議員(衆・自民)は、9月13日に預けた「保険でよい歯科医療の実現を求める請願」の要請項目への深い賛意を示したが、紹介

議員の可否については「現在党の中で審議中」と明言を避けた。山下芳生議員(参・共産)は、映画『シッコ』の感想などを交え「議員に返り咲いて一番力を入れていこうと思ったのは医療である。奈良の事件など現場で矛盾が深刻化しており、日本の皆保険制度を守らなければならず、逆立ち税制を正して医療にまわりたい」と述べた。「保険で

よい歯科医療の実現を求める請願」に賛同し、紹介議員になる事を明言した。8月9日の要請の際に預けた500筆に加えさらに500筆を預けた。面談した各議員と35人の秘書に、要請書・会員の声・歯科医療の現状を綴った「崩壊しつつある日本の歯科医療」・「08年改定に対する診療報酬要求」を渡した。

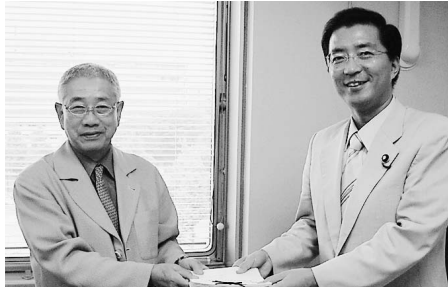
厚労省要請には、吉田副理事長ら8人が参加し、厚労省は宮原勇治医療審査監査官が応じた。要請では、①臨床現場の実態と乖離している包括化の是正やレセプト摘要欄記載の簡素化など84項目②パブリックコメントの検討経過の公開——などを求めた。

再SRPやP処置、普処の改定などを戻すことについては「意見はよく伺っている。しかし予算も喰つので、学会の学術的な意見もよく聞いて検討したい」と述べた。また、来春の診療報酬改定に大きな影響を与える歯周治療の新ガイドラインは、11月に開催予定の中医協・基本問題小委員会に骨格が出されるの見通しを示した。

パブリックコメントの公表や反映結果の公開では、「誤解を生むような状態については担当部局に伝える」とした。摘要欄記載の簡素化など質疑ができなかったため、次回以降の要請に持ち越された。



自民党・竹本直一衆議院議員(右)に要請する伊津理事長



共産党・山下参議院議員(右)に請願署名を手渡す伊津理事長



厚労省に包括化の是正などを要請する吉田副理事長(右から2番目)

## 歯科診療報酬の改善 求め厚労省要請

厚労省要請には、吉田副理事長ら8人が参加し、厚労省は宮原勇治医療審査監査官が応じた。要請では、①臨床現場の実態と乖離している包括化の是正やレセプト摘要欄記載の簡素化など84項目②パブリックコメントの検討経過の公開——などを求めた。

## 保険でよい歯科医療の実現を 和泉市で意見書採択

署名との相乗効果で世論を高めようと、自治体の意見書採択運動にも取り組んでおり、現在、協会の原案と併せて意見書を採択した自治体は、高槻市・羽曳野市・和泉市・田尻町の4市町。吹田市は診療報酬の改善と給付範囲の拡大の2項目にとどまったものの、患者負担の軽減を前文に盛り込むことで意見を表明している。

## 「歯は命」 歯科医療危機突破 10・28決起集会

10月28日(日) 午後2時～4時  
砂防会館別館(東京・平河町)  
※集会に先立ち銀座で街頭宣伝、署名行動

「保険で良い歯科医療を」実現するため、会員の先生・ご家族・従業員の皆様のご参加を訴えます。新大阪～東京の往復新幹線費用は協会が負担します。詳細は協会総務まで。

### 歯界

「人斬り」と称された土佐の剣豪、岡田以蔵を捕らえた幕吏は別に名のある剣客でもなかった。

佐幕派大反撃の時流の中で、討幕の志士としての気力の萎えを以て、ただの人殺しに落ちぶれていたのだ。

国際社会への貢献を目指す指し軍事化を急務とする日本で、医療・福祉の現場担当者は、まさに逆風の中で気力の萎えをうなづいた状況である。

レセプトオンライン化も、医療安全コストの負担押し付けも、医療供給コストの低減も医療人の犠牲で軍事財政強化を図る政策と表裏一体である。

この逆風の中の医療人にも追い風はある。決して快過ではない医療受診にも理性和信頼で耐えて施術に協力する患者の受診意欲は、施術者の能力以上の医療効果を発揮する追い風である。

だが頑張る医療人の気力にも限界はある。ワーキングプア・医師不足・多重負債・倒産などの苦境では、「志」を萎えさせないための「気力」が危機にある。

## 大阪市議会 大見 公的医療費の削減招きかねない 混合診療を拡大する内容



2007年9月28日、大阪市議会で採択された「歯科医療に関する意見書」は、「社会保障の理念に基づく公的医療保制

度を堅持し、国民が安心して良質かつ適切な歯科医療を受けられる措置を講ずる」ことを要望するところあり、歯科医療関係者には心強い限りである。

もって保険給付が拡大される患者の負担が軽くなるとしている。

保険外併用療養費のうち特に「選定療養費」は、①保険導入が将来にわたって行われない②保険給付範囲が狭められる——など、本来医療保険によって全面的に給付さ

れるべき歯科医療費が二階建ての構造になる。そのため、かえって患者負担の増加や診療報酬の低下(公的医療費の削減)、医療現場でのトラブルを招きかねない内容を含んでいる。

私たちは「社会保障の理念に基づき」公的医療保険制度を堅持し歯科医療の崩壊を食い止めるために、これ以上の混合診療の拡大を許さず世界一高い患者負担を軽減し、①払える自己負担にする②良質な歯科医療ができるように診療報酬を改善

小澤力政策部長が談話

度堅持し、国民が安心して良質かつ適切な歯科医療を受けられる措置を講ずる」ことを要望するところあり、歯科医療関係者には心強い限りである。

もって保険給付が拡大される患者の負担が軽くなるとしている。

保険外併用療養費のうち特に「選定療養費」は、①保険導入が将来にわたって行われない②保険給付範囲が狭められる——など、本来医療保険によって全面的に給付さ

れるべき歯科医療費が二階建ての構造になる。そのため、かえって患者負担の増加や診療報酬の低下(公的医療費の削減)、医療現場でのトラブルを招きかねない内容を含んでいる。

私たちは「社会保障の理念に基づき」公的医療保険制度を堅持し歯科医療の崩壊を食い止めるために、これ以上の混合診療の拡大を許さず世界一高い患者負担を軽減し、①払える自己負担にする②良質な歯科医療ができるように診療報酬を改善

第28回 困窮者大会  
き 10月28日(日) 受け付け開始 9時30分  
ところ 保険医協会 5階会議室  
参加費 4千円(昼食代含む)(ご夫人/子どもは2千円・懇親会は別途6千円)  
申込み 「困窮者大会参加」と、地区とお名前、棋力を明記の上、☎06-6568-0564で新聞部まで